

あすてらす通信

No.15 [特集号] 令和4年10月15日発行

生活上の困りごとや不安を抱えているかたの相談に応じ、就職や家計管理などのサポートを行っています。



中高年ひきこもり者支援の取り組み

赤磐市社会福祉協議会では、平成29年度より赤磐市くらし・しごと応援センター「あすてらす」を開設し、生活困窮者自立支援事業を受託実施しています。

生活や仕事、家計でお困りのかたを対象に相談支援を行っています。制度の狭間の問題に対して中核的な役割を担う本事業において、中高年ひきこもり者やその家族への支援は重要な課題となっています。このため、ひきこもり実態調査検討会を設置し、赤磐市内の実態を踏まえ、今後必要となる支援策について検討を行いました。

その後、相談窓口の充実や情報提供の強化を図るとともに、市民や関係機関・団体等との連携のもと活動を行ってきました。今月号では、中高年ひきこもり者支援の現状や課題等について報告します。

1 相談受付・情報発信

中高年ひきこもり者やその家族が必要とするタイミングで支援につながるよう、様々な媒体や日常生活のあらゆる場面を通じて、相談窓口や支援メニューなどの情報を発信し続けることが重要です。また、解決が困難な多問題を抱えていることが多く、多機関連携による支援が不可欠となります。

今後、当事者の多くが情報入手の手段として多用しているSNSを活用した情報発信の強化をはじめ、支援機関・団体等との連携強化を図ります。さらに、包括的な相談支援体制の充実に向けて検討を行います。

2 家族のための勉強会・交流会

当事者だけでなく、家族も将来への不安や悲観、孤立感を抱えていることから、家族が問題解決への意欲を持ち続け、当事者に関わり続けることができるよう支援することは重要です。

このため、令和3年1月より、同じ悩みを持つ者同士の交流や学びの場として、専門職の協力を得て家族教室を開催しています。中高年ひきこもり者支援にあたっては、親亡き後の問題など深刻な状況にあるかたが多くいます。問題解決の第一歩として効果的な機会や場となっている家族教室の参加につながるよう、支援者を通じて継続的に家族へのアプローチを今後も行っていきます。

赤磐市社会福祉協議会 生活支援課

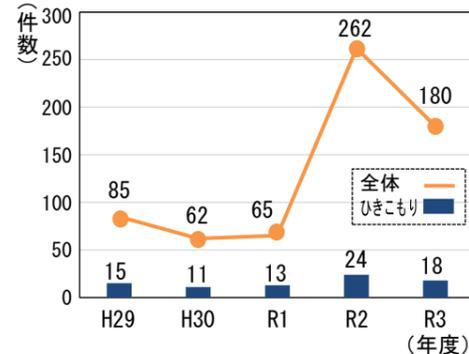
(赤磐市くらし・しごと応援センター「あすてらす」)

〒709-0898 赤磐市下市 344 赤磐市社会福祉事務所内
TEL・FAX 086-955-5500
http://www.akaiwashakyo.or.jp/
E-mail: akaiwaasuterasu@blue.ocn.ne.jp

◇ 中高年ひきこもり者支援のあゆみ

年月	主な取り組み
平成29年4月	●あすてらすの開設
平成30年3月	●赤磐くらし・しごと応援団の設立
9月～	●あすてらす通信の発行
11月～	●あかいわーくの協働実施
令和1年5月～ 令和2年3月	●ひきこもり実態調査検討会における検討
令和1年10月～	●生活困窮者自立支援セミナーの定例開催
令和2年4月	●ひきこもり支援検討会の設置
9月～	●ひきこもりサポーターの養成
令和3年1月～	●家族教室の定例開催
1月	●ひるの居場所の開設
7月～	●体験・訓練活動の協働実施
令和4年4月	●ひきこもり者居場所づくりアドバイザーの設置

◇ 相談件数の推移



◇ 家族教室のご案内

初めて家族の悩みを相談できた。他の参加者に話を聞いてもらえて嬉しかった!



日時 年4回(6・9・12・3月)
原則第4水曜日の14～16時

場所 山陽総合福祉センター

対象 赤磐市内に在住するひきこもり状態にあるかたのご家族など

3 当事者のための居場所

ひきこもり状態が長期化するにつれて、自己肯定感の喪失や意欲の低下等により社会とのつながりが希薄化していることから、地域の中に居心地が良いと感じられる社会との接点となる居場所を提供することが重要になります。令和3年1月に「ひるの居場所」が開設されましたが、当事者の身近な地域で居場所づくりを一層進めていく必要があります。また、中高年者の場合は参加者同士の交流やつながりを求める若年層とは異なり、動機づけや魅力が一層求められます。

このため、令和4年4月にひきこもり者居場所づくりアドバイザーを設置し、取り組みを強化することとしました。今後もその人らしく活躍できる居場所や働く場づくりを進めていきます。

4 就労支援(就労訓練や就労体験等)

ひきこもり状態のかたが日常生活の自立や社会参加の段階を経て、徐々にステップアップしながら就労につなげる仕組みづくりが不可欠です。また、身近な地域で就労訓練や就労体験等が受けられるよう、機会や場の充実を図ることが求められています。このため、赤磐市社会福祉法人連絡会との連携・協働のもと、平成30年11月にしごとサポート事業「あかいわーく」をスタートしました。さらに、商店や企業、福祉サービス事業所の協力を得ながら活動を行っていますが、社会参加の一步を踏み出すきっかけとなっています。

今後も一人ひとりに合わせて対応することができるよう、受け皿の充実を図るとともに、若者・中年層版人材センター(仮称)の設立に向けて検討を行っていきたく考えています。

5 地域における早期発見及び見守り・支え合い活動

ひきこもりに対する誤解や偏見は未だに多く見られています。ひきこもりは社会的な問題であるとの認識のもと、ひきこもり状態にあるかたやその家族の置かれている現状や思いなどを含めて正しい理解を広めていく必要があります。また、ひきこもり支援にあたっては早期発見が重要であることから、地域における早期発見の仕組みづくりや支援の輪を広げていくための取り組みが不可欠となります。

今後も生活困窮者自立支援セミナー(ひきこもり支援セミナー)の開催により普及啓発を図るとともに、ひきこもりサポーターの確保・養成を進めます。さらに、潜在的なニーズを発掘するための取り組みを強化していきます。

今後の地域づくりに向けて～地域共生社会の実現を目指して～

本会が目指す”一人の不幸も見逃さない地域社会”を実現するため、地域全体であらゆる生活課題を受け止め、相談支援や解決につなげていくための地域づくりを進めています。

今後はさらに、誰もが役割を持ち、お互いに支え合っていくことができるよう、支えられる側から支える側に回るための仕組みづくりを進めていきたく考えています。



◇ ひるの居場所のご案内



お会いできるのを楽しみにしています。一緒に遊びましょう。

- 日時** 毎月第2・4金曜日 13時30分～16時30分 ※要事前申込
- 場所** 山陽老人福祉センター
- 対象** 現在ひきこもりのかたやひきこもりに関心のあるかた
- 内容** ゲームをしたり、おしゃべりをしたりゆったりくつろげる空間

◇ 赤磐市内の就労訓練事業所(認定順)

- 特別養護老人ホーム山陽寿荘
- 特別養護老人ホーム桃香の里
- 赤磐市社会福祉協議会
- 特別養護老人ホームさくら木
- ケアハウスあかいわ
- 特別養護老人ホーム虫庄
- 作業処しあわせの家
- 生活協同組合おかやまコープ

◇ 赤くらし・しごと応援団(就労支援サポーター)(登録順)

- 特定非営利活動法人 RCF
- 特定非営利活動法人しあわせの家
- らしく赤磐

◇ ひきこもりサポーター

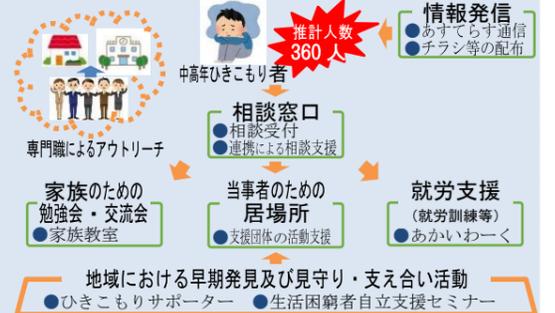
趣味や特技を活かして活動したり、家族の支援にも取り組んでいきたい!



10名登録

- 活動内容**
- 当事者の体験・訓練活動への同行
 - 家族教室の開催支援
 - 居場所活動の運営協力
 - サポーター連絡会への参加他

◇ 中高年ひきこもり者支援の概要



※次回は、令和5年1月の発行を予定しています。